

江崎工業株式会社 会社概要説明

**江崎工業株式会社
営業本部**

会 社 概 要

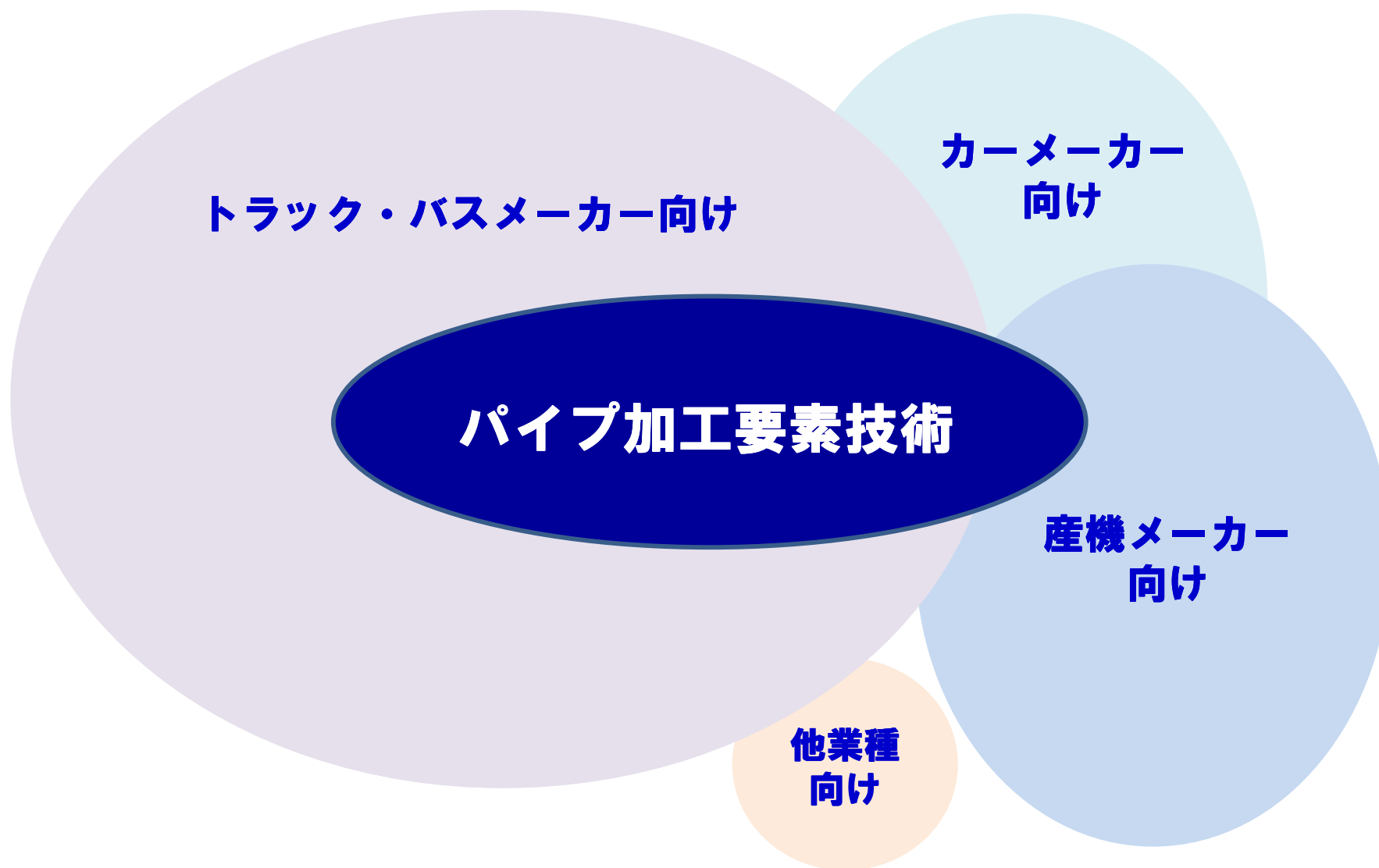
社 名	江崎工業株式会社
英 文 名	EZAKI INDUSTRIAL CO.,LTD.
創 業	1948年2月15日
設 立	1950年11月16日
資 本 金	2,500万円
本 社	東京都大田区大森北1-1-10 大森シティビル9F
栃木工場	栃木県下都賀郡岩舟町大字曲ヶ島 1932-1
従業員数	303名（2023年9月1日 現在）

売上実績：**2020年度46億円****2021年度53億円****2022年度55億円**

- 1948.02 江崎廣治、世田谷区玉川尾山町にて個人創業。
自動車用フレキシブルチューブを製作。いすゞ自動車(株)と取引開始。
- 1950.11 個人企業を法人に改組。江崎工業株式会社設立。
- 1964.11 大田区南六郷に本社・工場新設。
- 1970.04 自動車排気管ベローズ・パイプの量産化に向けた開発に着手。
- 1982.08 栃木県下都賀郡岩舟町に栃木工場新設。
同工場に自動雰囲気ろう付け炉導入。
- 1985.08 ロボットろう付け機導入。
- 1997.03 栃木工場に自動ベローズ成形機導入。
- 1997.04 大田区南六郷の新本社工場竣工。同工場にベローズ成形機導入。
- 1998.11 CBフランジの量産納入開始。
- 2000.01 ISO9002(品質システム)認証取得。
- 2001.04 シニア・オートモーティブ(フレクソニクス)社と提携。
- 2006.03 ISO/TS16949認証取得
- 2006.10 ISO14001(環境マネジメントシステム)認証取得。
- 2006.12 タイに現地法人、エザキ・インダストリアル(タイランド)株式会社を設立。
- 2010.03 大田区大森に本社移転および本社工場を栃木工場へ集約。
- 2015.08 タイ工場 工場規模拡張の為移転
- 2017.11 IATF16949/ISO9001 更新審査完了
- 2020.01 栃木工場第3工場完成
- 2021.01 新電気炉 第3工場にて稼働開始

弊社の業態について1

トラック・バス・自動車を主としたパイプ加工部品の専門メーカー



・いすゞ自動車株式会社	エンジン回り・車体周り各種パイプ加工部品
・ 株式会社IJTT	エンジン回り・車体周り各種パイプ加工部品
・株式会社オーハシテクニカ(日野自動車)	エンジン回り各種パイプ加工部品
・株式会社豊田自動織機	エンジン回り各種パイプ加工部品 排気系が主
・ 旭日産業株式会社(スズキ)	エンジン回り各種パイプ加工部品 EGRパイプが主
・ヤンマー株式会社	エンジン回り各種パイプ加工部品
・オリエント商事株式会社(三菱重工)	産業エンジン回りパイプ加工部品 排気系が主
・DMAX Ltd,(米国)	オイルドレンパイプ
・株式会社小松製作所	産業エンジン回りパイプ加工部品
・株式会社ケーヒン	エンジン回り各種パイプ加工部品
・日新工業株式会社	エンジン回り各種パイプ加工部品
・三桜工業株式会社	エンジン回り各種パイプ加工部品
・東京ラジエター製造株式会社	エンジン回り各種パイプ加工部品
・TBK株式会社	エンジン回り各種パイプ加工部品
・SMC株式会社	機械用パイプ加工部品
・他 数十社	



主要な加工内容は？

**曲げ プレス加工 切削 溶接
ロー付等々に対応しています。**

鉄、銅、
ステンレスの
材質に対応

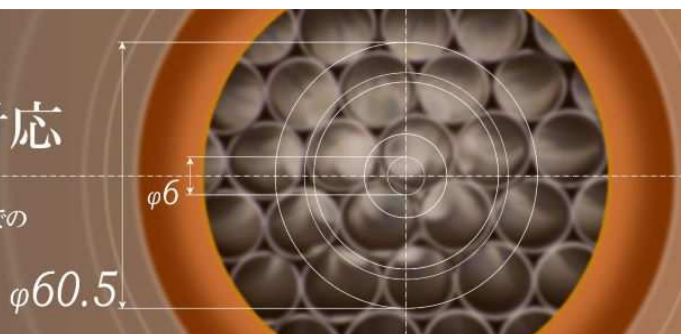


主要な扱い素材は？

**鉄系パイプ ステンレス系パイプ
銅系パイプを主に扱っています。**

多様な
サイズに対応

φ6 から φ60.5 までの
パイプ径が加工可能



加工可能なパイプ径は？

**小径では φ6 ~ 最大径 φ60.5 の
パイプ曲げ加工が可能です。**

**多品種少量生産対応も弊社の強みの一つです！
中・小ロットでもご相談に応じます。**

EZAKI THAI との協業で現地調達化へ推進しております。

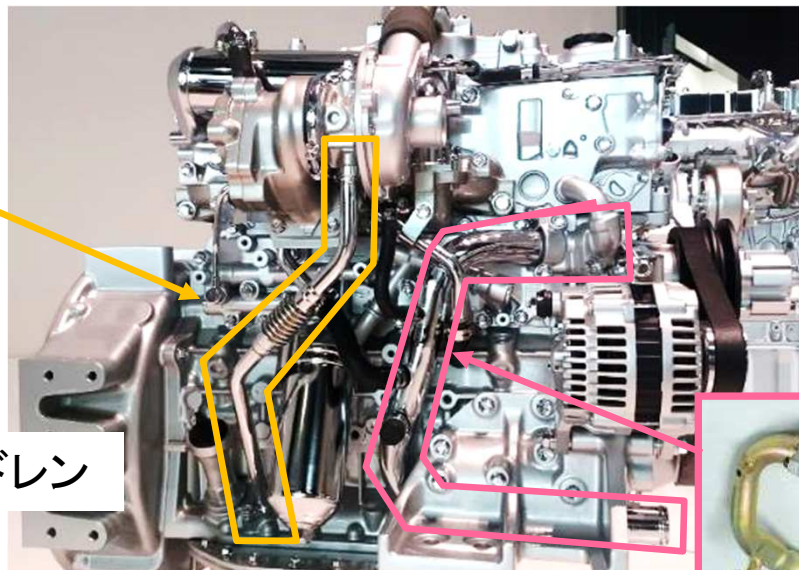
パイプ加工部品の主要ラインナップ



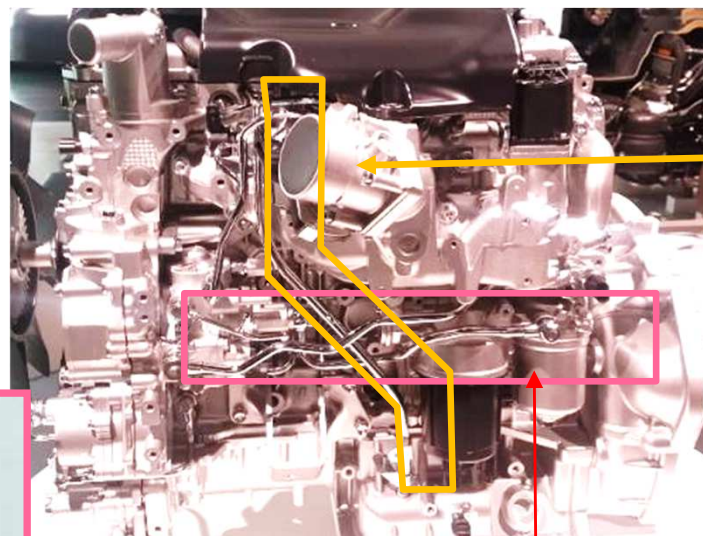
江崎工業の製品の使用事例



オイルドレン



冷却水循環



ガイド
チューブ



EGR(排ガス循環)



燃料供給管



オイルストレーナー

江崎工業の製品は、エンジン周辺に様々な
かたちで組み付いています。

提携先

シニア・フレクソニクス社
SENIOR FLEXONICS
(米国・イリノイ州)

当社は世界的なパイプ部品メーカーであるシニア・フレクソニクス社と業務提携しています。同社は、主力製品のディーゼルエンジン用の高圧燃料噴射管やEGRクーラーをはじめ、付加価値の高い製品の開発・量産化技術を有しています。

また、本拠を置く北米をはじめ、欧州やインド、南米、アフリカなど世界各地に拠点をもつ世界企業です。同社との提携により、ラインアップの強化とともにグローバルな対応ネットワークの構築を実現しています。



ディーゼル高圧燃料噴射管



EGRクーラー

エキゾーストデカップラー／
フレキシブルエキゾーストコネクター

EGRクーラー（プロトタイプ）

本社

管理本部(人事・経理)、営業グループ、技術グループからなる、“小さな本社”です。
恵まれた立地条件を活かし、更なる業務の効率化を目指します。
また、提携先シニア・フレクソニクス社の日本における営業拠点でもあります。



●アクセス: JR 大森駅より徒歩1分
〒143-0016

東京都大田区大森北1-1-10 大森シティビル9F
TEL(03)5767-7333
FAX(03)5767-7338

栃木工場

自動雰囲気ろう付炉やロボットによる半自動、
各種溶接を中心に熟練工による生産ラインなど、
ロット品から多品種小ロット品や試作品までお客
様の
ニーズに応える生産をしています。



第一工場

第二工場



●アクセス: 東武鉄道 日光線 静和駅より徒歩20分
東北自動車道 佐野藤岡インターより小山方面へ8km
〒329-4306

栃木県下都賀郡岩舟町大字曲ヶ島1932-1
TEL(0282)55-1511
FAX(0282)55-1508

EZAKI INDUSTRIAL (THAILAND)

当社初の海外生産拠点です。世界にEZAKI製品を拡げるべく、グローバルなネットワークの確立を目的に設立されました。オールドレンパイプやEGRパイプを中心に、日本の工場に近いレベルの製品をご提供できるようになりました。2019年度より電気炉製品の生産も始まりました。



工場内(約4000㎡)

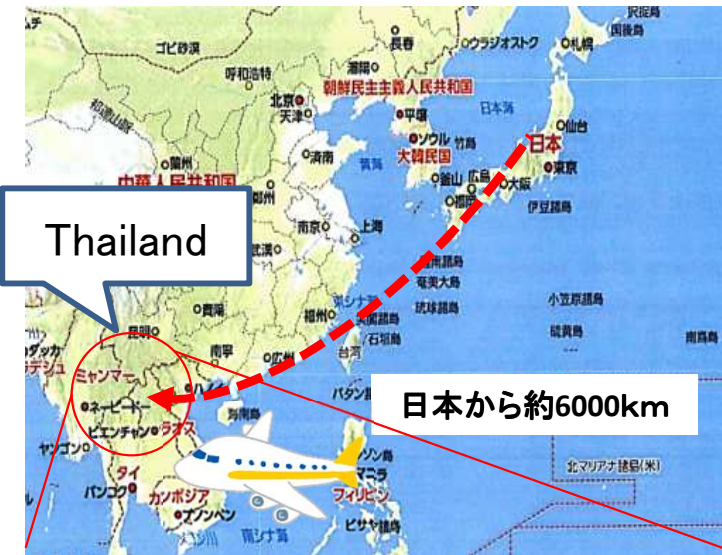
従業員数約100名(日本人4名)

EZAKI INDUSTRIAL (THAILAND) CO., LTD.

700/760 AMATACITY CHONBURI INDUSTRIAL ESTATE MOO 1,
PANTHONG, PANTHONG, CHONBURI 20160.

TEL:+66 (38) 079-212 ~ 214

FAX:+66 (38) 079-215



栃木工場概要



第2工場

第1・第3工場

工場沿革

- ・1982/8 第1工場生産開始
- ・2006/12 第2工場取得
- ・2007/7~2010/1
本社工場集約
- ・2019/5 第3工場稼働開始

2021年度 総受注数

915万本

621万本 社内

294万本 試作・協力企業

品目数(試作・パーツ含む)

約2,500種類/通常品 1,300品番

第1・3工場概要 (製造1課)

第1工場



第3工場



工場用地

第1工場 敷地 7,400m²

建物 1,500m²

第3工場 建物 960m²



製造1課 主要製品



チャンバー



燃料系パイプ



水系パイプ



水系パイプ

主に電気炉を使用するため、複雑な形状をした鉄パイプ製品を生産

第1工場・製造1課 主要設備/工程

成形工程



曲げ工程(NCベンダー)



仮止め



スポット溶接



製造1課は、炉中ろう付けを主とした製品の生産を行っています。比較的量が多く、成形・曲げは自動化を進めています。

第3工場・製造1課 主要設備/工程

炉中ろう付け工程

2021年1月より新電気炉稼働



形状確認工程



気密検査



炉中ろう付けは栃木工場稼働当初から約40年行われています。2021年より、新しい設備への入れ替えを行いました。

第2工場概要（製造2課・製造3課）



工場用地

第2工場 敷地 9,700m²

建物 5,700m²



製造2課 主要製品



オイルドレンパイプ



オイルストレーナー



EGRパイプ



エキゾーストマニホールド

主にステンレス素材を使用したパイプ製品を生産

製造2課 主要設備／工程

ベローズ成形



ベローズと呼ばれる蛇腹管の成形加工を自動で行っています。

高い品質を要求される製品につきましては、ロボットまたは自動機による接合も行っています。

TIGロボット溶接



CO2ロボット溶接



自動ろう付け



製造3課 主要製品



フレキシブルパイプ



ガイドチューブ



オイルパイプ



オイルパイプ(内面銅メッキ)

多品種少量の製品が多数

製造3課 主要設備/工程

端末成形



曲げ工程 (NCベンダー)



手ろう付け



製造3課は、多品種少量製品が大半を占めています。

機械化が難しく、感覚を必要とする作業・工程も多数あります。

ホームページURL: <http://www.ezaki.co.jp/>

